



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

幡多地域アクションプランの進捗状況等（第3四半期）

幡 多 地 域 本 部

平成31年2月13日（水）

幡多地域アクションプランの進捗状況等

H 31. 2 . 13

幡多地域本部

1 地域アクションプランの第3四半期の実施状況（総括）

(1) 総評

幡多地域の地域アクションプラン（47事業）に関しては、引き続き、各種助成制度やアドバイザー制度、研修会などを提案しているほか、今年度は、「目指せ！弥太郎 商人塾」を幡多地域で初めて開催し、事業者のスキルアップを図る機会を提供した。その効果もあって、新商品づくりや、県版 HACCP の認証取得、新たな設備投資を進める事業者が出てきており、事業のレベルアップへの動きは着実に進んでいる。

農業分野では、「ユズ」「直七」「ぶしゅかん」等の柑橘の作付面積の拡大やブランド化、青果や加工品の販売拡大を目指した、官民協働による取組を引き続き進めている。宿毛市の「直七」に関しては、12月から大手ビールメーカーによる缶酎ハイの全国販売が2月までの期間限定で始まり、「幻の柑橘」として全国的な知名度アップが期待されている。畜産関係では、土佐清水市の長期肥育鶏「土佐極鶏あしずりキング」は、大阪市の手食肉卸会社の協力を得て、7月から関西方面に本格的な出荷を開始したほか、7月末に市とともに立ち上げたブランド推進組織が商標登録の申請や、高知市及び四万十市での商談会に出展するなど販路拡大に取り組んでいる。更に、12月から竜串の観光施設でのメニュー提供を始めるなど、現在、市内5店舗での取り扱いにつなげた。

林業分野では、大月町の土佐備長炭の販路拡大が進んでおり、課題となっている原木の確保については、継続して苗木の植樹に取り組むほか、製炭の取組を地域により知ってもらう啓発活動として、小・中及び高校生や一般の方を対象に製炭学習会を開催した。

水産業分野では、「かつおの薫焼きたたき」をはじめ、「メジカ」「ブリ」「タイ」「キビナゴ」等の水産加工事業者を中心とした外商活動により、販路の拡大に取り組んでいるほか、土佐清水市の「メジカ」や宿毛市、大月町の「養殖マグロ」「ブリ」「タイ」といった、地域の資源を活かした地域産業クラスターを目指す取組も継続して進めている。土佐清水市の「メジカ」に関しては、市は、宗田節を原材料とする新商品の開発を進めており、今年度中に、市民への商品サンプル配布による普及活動や、県外飲食店などと連携したプロモーションや販売展開に取り組んでいく。

商工業分野では、四万十市の天神橋商店街の遊休地を活用した、にぎわい拠点の整備に向けて取り組んでいる。10月には、商店街組合や商工会議所などで組織する「中心市街地活性化協議会」を立ち上げ、拠点施設を核とした周辺商店街全体を活性化させるプランづくりを始めており年度内に策定を行う。

観光分野では、「(一社) 幡多広域観光協議会」を中心に6市町村や観光団体の連携のもと、引き続き着地型の旅行商品や体験メニューづくり、旅行会社等へのプロモーション、海外からのインバウンド誘致の取組を展開していく。スポーツツーリズムは、新たに、集落活動センターと連携を進めるなど、受入を更に充実する取組を進めると共に、新たな競技大会やこれまでと違った種目の合宿等の誘致にも取り組んでいる。また、竜串観光プロジェクトでは、新足摺海洋館を始め、今後、整備が予定されている各種施設の計画にあわせ、「竜串観光クラスター推進協議会」において、地域の事業者が連携した周遊の仕組みづくりに取り組んでおり、3月までに観光クラスター整備計画を策定する。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石田蘭園 ・蘭遊六志会 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 (1~12月) <li style="padding-left: 20px;">H26 実績 : 80,438 千円 →H29 目標 : 100,000 千円 (実績 : 73,044 千円) →H30 目標 : 110,000 千円 →H31 目標 : 165,000 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 (H30.1~9月期) : 37,791 千円 (前年同期比 132.5%) ○販路開拓と販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市ふるさと納税返礼品への出品 ○生産体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・海外拠点とのリレー出荷システムの構築に向けた取組 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益率アップに向けた更なるコスト削減策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒海外の生産拠点からの安定的な苗供給体制の確立 ・切り花出荷の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒新たな取引先や個人ユーザーの獲得など販路の拡大 ・新たな取引先の獲得 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県外でのフェアや商談会への参加に加え、ネットショップを活用、個人顧客獲得に向けた営業活動を展開
<p>■No.2 幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有) 成田果樹園 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 (8~7月) <li style="padding-left: 20px;">H27 実績 : 44,179 千円 →H29 目標 : 47,000 千円 (実績 : 63,261 千円) →H30 目標 : 59,000 千円 →H31 目標 : 65,000 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 (H30.8~10月) : 5,926 千円 (前年同期比 153%) ○新事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザー制度を活用し、地元の農産物(柑橘など)を使った飲料を開発、また販促物(パンフレット)も併せて製作中。 ○既存商品の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培、減農薬栽培への継続的な取組 ・宿毛市ふるさと納税返礼品への出品 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた新たな市場開拓 <ul style="list-style-type: none"> ⇒「シトラスビューティー」(柑橘等を利用した美容と健康の増進)のPR活動の実施及び商品購入に繋げていくための戦略づくり ⇒既存商品(柑橘・加工品)のPR促進

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.3 長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)足摺農園 ・土佐清水市 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産羽数 <ul style="list-style-type: none"> H27実績：－ →H29目標：680羽(実績：0羽) →H30目標：2,400羽 →H31目標：3,848羽 ○加工出荷額 <ul style="list-style-type: none"> H27実績：－ →H29目標：2,620千円(実績：0円) →H30目標：10,872千円 →H31目標：17,436千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産羽数(7～10月)：576羽 <ul style="list-style-type: none"> 売上高(7～10月)：2,104千円 ○生産体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・新加工処理施設の稼働開始(5/28～) ・協力農場(鹿児島県知覧市)による技術指導(7/11) ・HACCP書類(第2ステージ)の添削指導(9～10月) ○流通体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・販売先(関西の卸事業者)の生産現場視察、販売協議(6/21) ・ブランド化に向けた関係機関による協議会(7/31設立、作業部会開催(5回)) ・ブランド名商標登録申請(11/8) ・販売先が主催する飲食店向け商談イベントへの出展(9/19) ・商談会出展(高知市(10/24)、四万十市(11/14)) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工処理体制の確立(衛生管理体制等) <ul style="list-style-type: none"> ⇒加工処理施設の円滑な運営支援 県版HACCP取得に向けた支援(アドバイザーの活用) ・販路の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒販売先等と連携した営業活動、商談会への出展 ・ブランド化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ブランド化協議会でのプロモーション事業計画の検討 ⇒産振アドバイザー制度の活用(市民への普及、知名度のアップ)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.4 四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 ・四万十ぶしゅかん生産者組合 ・四万十ぶしゅかん(株) 	<p>[目標]</p> <p>(四万十市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栽培面積(3月末時点) <ul style="list-style-type: none"> H27実績:490a →H29目標:1,020a(実績:977a) →H30目標:1,170a →H31目標:1,440a <p>(四万十ぶしゅかん(株))</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産量(4~3月 ※収穫期間は8~10月) <ul style="list-style-type: none"> H27実績:18,700kg →H29目標:31,500kg(実績:23,380kg) →H30目標:37,540kg →H31目標:46,800kg <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栽培面積(12月末):977a(前年同期比135.7%) ○生産量(12月末):32,592kg(前年同期比139.4%) ○産地化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市苗木補助メニュー(ぶしゅかん産地化推進事業:地方創生交付金)の活用(4月~) ・栽培基準検討会の開催(2回) ○生産量の増加 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培状況の現地確認(4/17、7月以降は随時) ・生産者組合役員会(6/5)及び総会(6/8)の開催 ○展示会や商談会への出展及び量販店への営業活動 <ul style="list-style-type: none"> ・催事販売等の実施(12月末):12回 ・商談会へ出展(12月末):4回 ・ぶしゅかん解禁祭の実施(8/18) ○各種媒体でのPR活動 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビでの特集(4/9)、県内テレビCM(6/20~) ・ぶ耐ハイ列車 in 土佐くろ鉄(9/9) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の生産技術、ノウハウの習得 <ul style="list-style-type: none"> ⇒生産者の栽培技術の向上や知識の習得に向けた研修会、講習会の継続的な実施 ・100年ぶしゅかんブランドの確立 <ul style="list-style-type: none"> ⇒生産者組合の連携体制の一層の強化、結束力の向上 ⇒出荷基準の徹底 ・販売戦略の構築 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ターゲットを絞った販売ルートの確立 ⇒商品コンセプトの再構築 ・ぶしゅかんの認知度の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒地元の飲食店等での活用促進

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒メディアを活用したぶしゅかんのPRの継続実施 ・生産コストの削減、衛生管理体制の強化 ⇒集荷・選果・搾汁・保管機能を有した拠点施設の安定稼働 ⇒県版 HACCP 認証申請に向けた支援
<p>■No.5 三原村ユズ産地化計画の推進事業 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財) 三原村農業公社 ・三原村 ・J A高知はた 	<p>[目標]</p> <p>(三原村農業公社) (J A高知はた)</p> <p>○生産量 H26 実績: 103 t →H29 目標: 240 t (実績: 128 t) →H30 目標: 300 t→H31 目標 495 t</p> <p>○販売金額 H26 実績: 16,738 千円 →H29 目標: 50,000 千円 (実績: 59,792 千円) →H30 目標: 100,000 千円→H31 目標: 129,388 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○生産量 (12 月末見込): 概ね 300t</p> <p>○販売金額: 未定 (平均単価 225 円/kg (H30 見込)) (247 円/kg (H29))</p> <p>○地域農業支援システムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業公社を核とした農業支援システムづくりの検討 ユズ園地リースシステム協議 (5~11 月 15 人) <p>(1) 公社・研修生にむけて</p> <p>① 公社</p> <ul style="list-style-type: none"> 剪定講習会 (4/25 8 人) 園地巡回指導 (4~6 月 3 回) 剪定指導 (5/25 3 人) <p>② 研修生</p> <ul style="list-style-type: none"> 巡回指導 (4/17 2 人) 篤農家訪問研修 (5/8 2 人) 剪定指導 (5/25 2 人) 新規就農者との合同勉強会 (7/20 2 人) 現地一般園地勉強会 (8/28 1 人) 新規就農者との合同勉強会 (11/9 1 人) 就農計画協議 (10~12 月 2 回 研修生 1 人) <p>(2) JA 柚子部会員にむけて</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培講習 (5~12 月 6 回 のべ 141 人) 個別巡回 (4~11 月 22 回 のべ 33 人) <p>○青果出荷体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選果施設利用協議 (3 回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○基盤整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域所得向上支援事業における農地造成関連工事等発注(農道舗装工事 11月、農地造成工事 12月) <p>○新規就農者の経営安定(就農5年以下)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整枝剪定・防除指導巡回 (4~11月 19回 のべ37人) ・経営指導巡回(6/4 1人) ・経営状況調査・面談(8/31 2人) ・研修生との合同勉強会(7/20 3人) <p>○ユズ商品加工・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピール菓子(販売中)の販路開拓 バイヤーを通じて関東・東北・北海道方面にサンプル配布するなどPR中 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○ユズ共同選果施設運営体制の確立</p> <p>(課題) 選果員の人員確保</p> <p>(対応) 選果機効率アップの検討</p> <p>生産者での粗選果、計画的搬入や運営の役割分担などを選果施設運営協議(JA三原支所柚子部会)(3月予定)</p>
<p>■No.7 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月町備長炭生産組合 	<p>[目標]</p> <p>○販売量</p> <p>H26実績:75.7t</p> <p>→H29目標:120t(実績:108.8t)</p> <p>→H30目標:120t →H31目標:200t</p> <p>[取組状況]</p> <p>○販売量(4~10月):60.9t(前年同期比:98.6%)</p> <p>○原木(ウバメガシ)の安定的な確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国有林、県有林の活用検討、協議、現地視察 ・土佐清水市森林組合顔合わせ(8/1) ・大月町、土佐清水市内の地権者との伐採契約交渉 (10ha以上) ・ウバメガシ植樹活動の実施(11/10) ・ウバメガシの育苗場の整備(700㎡) ・県、町、組合三者間連絡会議(12/5) <p>○生産力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産組合の定例総会の開催(事業計画等の協議)(5/14) ・クレーン車両(3t)導入 ・ウバメガシ搬出作業道の整備 (県地域林業総合支援事業補助金交付決定 8/30) ・大月町周辺の小学校対象に生産体験学習実施(11/10)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月町産業祭へ備長炭を活用した飲食コーナー出店 (11/3) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○原木(ウバメガシ)の安定的な確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒山林の確保に向けた関係先との調整 <ul style="list-style-type: none"> ・県、町、組合三者間連絡会議の継続実施 ⇒長期的な視野に立った資源の造成 <ul style="list-style-type: none"> ・ウバメガシ搬出作業道の整備 ・ウバメガシ林の造成の検討 ⇒製炭事業や山林資源の活用について地域に知ってもらう啓発活動の検討 <p>○生産の安定化と増産、品質の確保、販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒生産性の向上を目指した意識づけ、知識・技術の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・関西や四国内の飲食店視察を検討
<p>■No.8 すくも湾漁協と民間事業者の連携による水産物の加工・販売事業(宿毛市・大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくも湾漁業協同組合 <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高</p> <ul style="list-style-type: none"> H26実績:1.04億円 →H29目標:1.1億円(実績:0.68億円) →H30目標:1.1億円 →H31目標:1.22億円 <p>○加工量(原魚ベース)</p> <ul style="list-style-type: none"> H26実績:191.4t →H29目標:560t(実績:572t) →H30目標:560t →H31目標:400t <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(4~9月):39,163千円(前年同期比:103.6%)</p> <p>○加工量(原魚ベース)</p> <ul style="list-style-type: none"> (4~11月):551t(前年同期比:136.7%) <p>○すくもプロジェクト(ブリフィレ加工)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の加工について関係者協議(4/3,5/24) <ul style="list-style-type: none"> →今年度加工目標:14万尾 →加工尾数(4~11月):107,974尾 ・省人力化及び作業効率化に向けた関係者協議(2回) ・省人力化及び作業効率化に向けた電気タモデモ機導入試験実施(6回) <ul style="list-style-type: none"> ⇒一定の作業時間の短縮が実現、最適な電圧の設定等については、今後試験を継続する中で確立させていく <p>○高知県版 HACCP の承認取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3ステージ取得(6/22)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくもプロジェクト(ブリ) ⇒周年加工の実現に向け原魚確保や加工体制を調整 ⇒自動メ機は引き続きデモ機の導入を検討 ⇒電気タモデモ機導入試験の実施及び試験結果の分析を継続
<p>■No.9 すくも湾漁協による水産物の加工・販売事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくも湾漁業協同組合 <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高</p> <p>H26 実績: 37,553 千円</p> <p>→H29 目標: 40,600 千円(実績: 34,158 千円)</p> <p>→H30 目標: 40,000 千円 →H31 目標: 50,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(4~11月): 22,129 千円(前年同期比: 111.0%)</p> <p>○加工品のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市産業祭に出店(4/29) ・豊かな海づくりフェスタ in こうち~第9回土佐のおさかなまつり~に出店(10/28) ・マグロまつり in 大月町産業祭に出店(11/3) <p>○未利用魚の有効利用(サメ、アイゴ、ニベなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の基盤整備事業を活用したサメ肉の有効利用について関係者で協議(5/22) <ul style="list-style-type: none"> →新商品の開発委託や販売先の確立 ・その他魚価の低い魚介類の加工 <ul style="list-style-type: none"> →アイゴは水揚げが安定せず、安定的な加工が難しいが需要はあるのでこれからも加工に取り組む →ニベは魚価高騰のため加工断念 ・上記2イベントにて、サメ肉を用いた唐揚げの試食販売を実施。実食した方の評価は好評であり、今後販売商品としての確立を目指す。 ・宿毛市給食センターへサメの切り身を106kg販売(11/21) <ul style="list-style-type: none"> 翌22日、宿毛市内の学校給食で給食メニューの1品として提供 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品のPR <ul style="list-style-type: none"> ⇒県内外のイベントへの出店 ・未利用魚の有効利用 <ul style="list-style-type: none"> ⇒引き続き学校給食への新メニュー提案、飲食店への売り込み等

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》 ・(株)沖の島水産</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高(7~6月) H26実績:2.5億円 →H29目標:3.5億円(実績:4.9億円) →H30目標:5.0億円 →H31目標: :6億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(7月~9月):122,135千円(前年同期比:132.6%)</p> <p>○商品開発と販売促進 ・県外の展示会・商談会及び催事への出展 (4~9月:21件)</p> <p>・産振アドバイザーの活用(HPリニューアル)</p> <p>○生産体制の充実、強化 ・県版HACCP第2ステージ認証取得(11/1)</p> <p>○その他の取組 ・スキューバダイビングのPR</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・自社レストラン以外の販路開拓 ⇒通信販売(ネット、DM)等の強化</p> <p>・衛生管理体制の充実 ⇒HACCP取得(第3ステージ)に向けた取組の強化に向けた社員教育の実施</p> <p>・漁労部門の周年雇用の確保 ⇒スキューバダイビング事業の充実、強化</p>
<p>■No. 11 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》 ・(株)勇進</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高(5~4月) H26実績:0円 →H29目標:1.26億円(実績:1.23億円) →H30目標:1.5億円 →H31目標: :2.56億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(5~10月):55,300千円(前年同期比119.4%)</p> <p>○販路拡大 ・県内外大手スーパーマーケット、県外外食関係事業者などへの販促活動の継続実施</p> <p>・県内外の商談会への出展(4~12月:10件)</p> <p>・取引先との調整及び取引交渉の促進(4~12月:23件)</p> <p>・商人塾短期集中セミナーin幡多受講</p> <p>○生産体制の確立 ・新規従業員(11月より雇用)がHACCP研修受講 (11/13~14)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた新たな取引先の獲得 ⇒商談会や催事等への積極的な参加 ⇒取引先の拡大に向けた県外での営業活動の強化 ⇒海外の新規取引予定業者との交渉の促進 ・衛生管理体制の確立 ⇒HACCP 取得に向けた社員教育の実施 ・生産体制の充実、強化 ⇒責任者の配置、人材育成の強化
<p>■No. 13 キビナゴ加工商品の生産販売体制強化事業 (大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八重丸水産(株) <p>※地域産業クラスター関連 (宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○きびなごケンピ売上高 (9～8月) H26 実績：25,950 千円 →H29 目標：27,500 千円 (実績：26,675 千円) →H30 目標：28,500 千円 → H31 目標：29,820 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○きびなごケンピ売上高 (H29.9月～H30.8月)：25,915 千円 (前年同期比 97.2%) (H30.9月～10月)：4,490 千円 (前年同期比 130.8%) ○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・きびなごケンピの製造、取引先への継続的な出荷 ・日曜市 (太刀魚、ウツボ、イワシ等) での出店 (毎週日曜日) ・県内外の商談会への出展 (5、7、8、9、10、11月) ・新規取引 2 社 (県外 2 社) ○市場ニーズに対応した新商品の開発・商品の改良 <ul style="list-style-type: none"> ・新商品 (イカのポン菓子) 開発中 ・商品形態のバリエーション充実及び販売 (8月) ・商品開発・販売力に係るセミナー受講 (7～10月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高利益率生産に向けた新商品の開発や既存商品の改良 ⇒新商品の開発や既存商品の磨き上げ、商品形態のバリエーションの充実 ・事業拡大へ向けた業務用筋への参入 ⇒業務用商品とするために必要な条件等の収集 ・経理等を含めた経営力のワンランクアップ ⇒販売管理システムの導入等による体制強化を含めた経営力の向上

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐大月海産 <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品売上高(1~12月) H26実績:14,549千円 →H29目標:25,000千円(実績:26,643千円) →H30目標:30,000千円 → H31目標:33,000千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品売上高(1~10月):22,176千円 (前年同期比120.3%) ○販促営業、情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、インターネットを通じた継続的な販売 ・県内商社を通じた販路拡大(県内量販店取引4店舗) ・県内外のホテル業界参入への継続的な取り組み ・通年用リーフレットの配布(納税返礼品に同封) ・お中元商品のDM発送、宣伝・販売(6~8月) ・お歳暮商品のDM発送、宣伝・販売(11~12月) ・商品形態のバリエーション充実2品(販売開始6月) ・県外商談会出展も視野に、高品質重視の百貨店等への販促活動を検討 ・県版HACCP第2ステージ認証取得(10/12) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理体制の充実強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県版HACCP上級ステージを目指すための設備導入 ・利益アップに向けた新たな個人顧客の獲得 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ネット販売の再構築、ふるさと納税を活用した販売促進への波及
<p>■No. 16 直七の生産、加工、販売の促進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産(株) ・直七の里(株) ・直七PJ(株) 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直七果実生産量(1~12月) H27実績:117t →H29目標:200t(実績:163t) →H30目標:200t(実績:192t) →H31目標:200t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直七果実生産量:192t(前年同期比117.8%) ○生産体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・苗木配布に伴う説明会(5/29) ○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・県外の展示会・商談会の出展及び試食販売の開催 (4~9月:9件) ・地元の葬祭業者の香典返しとして、直七セットが採用 (4月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・直七高付加価値化(広告宣伝)推進事業を活用し、海外への見本市に出展(4月) ・市内で直七フェアを開催(10/7 直七の日) ・全国紙へ広告出稿(11月) ・ナショナルブランド缶酎ハイの全国販売(12~2月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料(直七)供給の安定化 ⇒新規生産者の増加及び生産方針の教育の徹底、計画的な作付面積の拡大による原料供給の安定化
<p>■No.17 昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)菱田ベーカリー 	<p>[目標]</p> <p>○売上高</p> <p>H26実績:3,000千円 →H29目標:38,000千円(実績:49,770千円) →H30目標:50,000千円 →H31目標:60,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(4~10月):28,302千円(前年同期比100.4%)</p> <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の商談会及び催事への出展(4~10月:11件) <p>○新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営革新等支援事業費補助金を活用(フードショー2018(6/20~6/21)参加)し、バイヤーとの意見交換を行ったことにより「大納言」のリニューアルの検討につながった <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羊羹パンのさらなる認知度の向上 ⇒インターネットを活用した通販事業の強化 ⇒県内外の展示会、商談会の参加や営業活動による外商の取組の強化 ・保存用ラスクやその他の商品の販路拡大 ⇒官公庁、自主防災組織等への売り込み
<p>■No.18 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水ホールディングス(株) ・土佐食(株) ・(株)土佐清水元気プロジェクト ・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会 ・土佐清水市 	<p>[目標]</p> <p>(土佐食(株)+(株)土佐清水元気プロジェクト)</p> <p>○売上高</p> <p>H26実績:17.92億円 →H29目標:22.1億円(実績:18.39億円)(2社合計) →H30目標:19.8億円(2社合計) →H31目標:25億円(2社合計)</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(4~8月):10.63億円(前年同期比147.4%)</p> <p>○経営戦略の策定</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産地入札会及び宗田節まつりを実施（4/14） ・土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会議（5/29） ・宗田節プロモーション会議での、新商品開発及びプロモーションに関する協議（7回） ○原魚確保、生産体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・メジカ漁師の研修生の受入：2名 ○商品開発及び販売活動 <ul style="list-style-type: none"> ・各種商談会に土佐食と元気プロジェクトが共同で参加 ・宗田節ロードスタンプラリーの期間延長 (11/1～H31.12/31) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料となる原魚の確保 ⇒H29の極端な不漁と比べH30は平年並みであり、積極的に原魚を購入し原材料の安定を図る ・土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会を中心に、関係団体が連携してハード・ソフト事業を推進 ⇒メジカ関連産業に関する施設整備の円滑な推進 新商品の製造設備整備に向けた事業計画策定の支援 品質・うまみの独自基準づくり 市民向けプロモーションの展開の支援 ・衛生管理の強化 ⇒県版HACCP認証取得に向けた誘導 ・商品力の強化と販路拡大に向けた取組の強化 ⇒市場ニーズに対応した商品づくりの継続的な展開 ・土佐清水ホールデングス(株)を中心とした土佐食と元気プロジェクトの経営資源の再構築
<p>■No.19 だしが良くでる宗田節商品の販路拡大促進事業（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ウェルカムジョン万カンパニー <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○販売額（1～12月） H26実績：47,600千円 →H29目標：70,000千円（実績：88,076千円） →H30目標：80,000千円 →H31目標：70,000千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○販売額（1～9月）：60,770千円（前年同期比98.2%） ○外商活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節まつりでの商品販売（4/14） ・にっぽん丸入港歓迎行事への出店（5/29） ・H30高知県産品商談会への出展（5/29）において、新商品発表（めんつゆボトル・スーパー向け） ・スーパーよさこい（表参道）へ出店（8/25～26） ・ギフトショー（東京ビックサイト）への出展（9/5～7）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・高知発掘フェアへ出展(10/24) ・幡多商談会へ出展(11/14) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな販路の開拓(めんつゆ、ポン酢) ⇒県外での商談会や催事等への参加 ⇒利益率の高いプライダル商品等に注力 ・生産機器及び商品包装のリニューアル ⇒県補助金の申請支援
<p>■No. 20 地域産品を活用した加工商品の開発 販売・流通システム構築推進事業 (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水沸騰社中 ・土佐清水外商流通組合 ・土佐清水市 ・(株)郷土活性化組合 <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ 産業クラスタープロジェクト及び宿毛・大 月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <p>○流通システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水さば活魚輸送及び店内いけす改善のために産振アド バイザー制度の活用(3回) ・土佐清水活性化組合(鮮魚等一次加工場)オープン (11/25、土佐清水市内)(梶郷土活性化組合) <p>○地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節新商品開発及びプロモーションに関する、ワール ドワン店舗での展開に関する協議(6/4) ・「土佐清水ワールド」新規店舗オープン (東京新橋店(9/26)、大阪梅田お初天神店(11/7)) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通システムの構築 ⇒生産者や加工事業者が事業推進に参加しやすい仕組 みづくり ⇒活魚輸送の効率化、輸送コストの削減等に向けた輸送 方法の検討 ・地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進 ⇒生産者や加工事業者との連携の仕組みづくり ⇒お客様のニーズに合った新商品の検討
<p>■No. 21 海洋資源を活かした遊漁等による体 験型交流推進事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・土佐清水市観光協会 ・民間事業者 ・漁業協同組合等 	<p>[目標]</p> <p>○来客数</p> <p>H28実績:300人</p> <p>→H29目標:300人(実績:1,060人)</p> <p>→H30目標:1,200人 →H31目標:1,600人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○来客数(4~7月):359人(前年同期比:72%)</p> <p>○ポスト幕末維新博を見据えた、遊漁船業やその他体験観 光メニュー等の磨き上げと旅行商品化</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・足摺釣りブリ組合と遊漁事業化(見学・体験)を協議(5/14) ・遊漁船業等の旅行商品開発支援業務を民間旅行会社に委託(5/31契約) →足摺釣りブリの旅行商品化に向けた取組を実施(本年度中に、商品プラン策定、モニターツアー等を実施) ・足摺釣りブリ組合と遊漁事業及び旅行商品化に関する課題について意見交換(3回) ・遊漁事業化に対する遊漁船業等アドバイザーとの意見交換(12/8) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足摺釣りブリの旅行商品化 ⇒モニターツアーの実施、課題の抽出、磨き上げ、旅行エージェントへの提案書の作成(今年度は見学までを商品化) ・足摺釣りブリの遊漁事業化 ⇒遊漁事業の整理(見学、釣りの実施)など
<p>■No. 22 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)しまんと美野里 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栗加工品製造量(6~5月) H26実績: 4.0 t →H29目標: 7.0 t(実績: 5.4 t) →H30目標: 7.0 t →H31目標: 8.0 t ○原材料(生栗)仕入量(6~5月) H26実績: 6.5 t →H29目標: 11 t(実績: 8.6 t) →H30目標: 11 t →H31目標: 12 t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原材料(生栗)仕入量(6~10月): 7.3 t (前年同期比 84.9%) ○商品の高付加価値化と情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・HACCP認証の取得に向けた取組 第2ステージ取得(7/20) 第3ステージ取得に向けたHACCPアドバイザーによる現地指導(11/28) ・四万十市「おかみさん祭り」で焼き栗実演販売(4/20) ・高知市内の菓子店とのコラボ商品(ミレーサンド、タルト、キャラメル、チーズケーキ)を道の駅を中心に販売 ・商人塾短期集中セミナーin幡多の受講

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品(栗のソフトクリーム)完成(7/18) ・原材料長期保存のための冷却設備導入協議(3回) ・西土佐農商工連携検討会での栗仕入協議(8/9) ・高知大丸家具リビング祭出店(10/19~21) ・第7回ものづくり総合技術展出展(11/15~17) ・はたのおと2018in四万十市出店(11/17) ・スクスイカップでの出店(11/24) ・業務用スーパーサンプラザー宮店での出店(11/25) <p>○栽培しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市によるモデル栗園整備に向けた予定地の整地化(4月) ・農家定例会の開催(2回) ・西土佐農商工連携検討会(8/9) <p>○地域の他素材を使った商品づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブルーベリーのジャム販売開始(8月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な栗の仕入れ <ul style="list-style-type: none"> ⇒市、JA高知はたなど関係機関との連携強化(西土佐農商工連携検討会での定期的な協議など) ⇒モデル栗園の円滑な整備 ⇒栗栽培の先進地視察 ⇒集荷農家の増加に向けて、作業道整備や獣害対策網の設置等の実施 ⇒収穫時期の大学生や地域おこし協力隊等を活用した人手不足対策の検討 ・道の駅を中心とした販売促進、PR <ul style="list-style-type: none"> ⇒売上拡大に向けた新商品開発(焼酎) ・閑散期対策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒イタドリに関しては、地域内での栽培開始を見越した、加工・保管の体制づくり及び、大宮地区の栽培に関する情報収集、連携に向けた協議 ⇒栗以外の製品の加工の検討(梅)
<p>■No.23 四万十牛の生産・販売拡大事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)四万十牛本舗 ・西土佐中央牧場 	<p>[目標]</p> <p>((株)四万十牛本舗)</p> <p>○売上高</p> <p>H26実績:131,446千円</p> <p>→H29目標:180,000千円(実績:179,290千円)</p> <p>→H30目標:180,000千円 →H31目標:200,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(4~9月末):90,816千円(前年同期比99.2%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○販売拡大と新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内スーパー（サンプラザ）との精肉取引が6月から2倍に増加（半頭/月→1頭/月） ・ 旭食品との商談（5月） ・ 第7回チーム・シェフコンクールのリトルワールド賞受賞（11/5） ・ ふるさとまつり（11/2～4） ・ 四万十うまいもの商店街（11/11） ・ 枚方友好交流物産展（11/16～17） ・ 四万十市産業祭（11/18） ・ 高知大丸出張販売「冬の味覚祭」（12/15～16） <p>○原材料供給体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼育頭数の拡大 （10月末179頭→目標12月末200頭へ） ・ 西部家畜保健衛生所による主に生産面に関する支援 （月1回程度訪問） ・ 牧場従業員の1名雇用増（5月～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼育頭数の拡大 ・ 販売店舗・加工施設の移転拡大 ⇒事業計画整理に向けた支援 ⇒HACCP第3ステージ取得に向けた研修等への誘導 ・ ブランド化に向けた取組 ⇒ブランド化に向けた協議の場づくりの検討 商品開発や店舗のPR及び販促活動の強化 ・ 売上拡大に向けた道の駅を通じた加工品の販売促進 ⇒消費者ニーズに対応した継続的な商品づくりの支援 ⇒道の駅等での商品の売り方検討（BBQ等） ・ 人手不足（惣菜部門が2名不足） ⇒ハローワーク及び求人ネットの活用
<p>■No.24 売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス)（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)西土佐ふるさと市 ・ 四万十市 	<p>[目標]</p> <p>○売上高 H26実績：0円 →H29目標：160,000千円（実績：150,184千円） →H30目標：150,000千円 →H31目標：150,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高（4～11月末）：122,055千円（前年同期比108.5%）</p> <p>○地域ならではの商品づくり、販売活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開業2周年イベント「よっておきゃく」の開催（4/8） ・ 運営会議の開催（9回）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品(鮎のコンフィ)販売開始(4/29～) ・月次まつりの開催 (4/8 2周年祭、5/27 新たままつり、6/24 鮎まつり、7/29 夏のなりものまつり、8/12 41℃フェア夏の感謝祭、9/23 くりかに合戦、10/21 西土佐の新米とご飯のお友まつり、11/25 柚の香まつり、12/30 冬の感謝祭) ・アツイまちサミットへの参加(6/2 東京) ・青森道の駅つるた 道の駅物産交流(6/23～24) ・ギフト商品の販売(7月中旬) ・新商品開発(米なすスムーズ) (販売期間:8/12～8/31) ・ナスフェス(8/5) ・旭川食べマルシェ出店(9/15～17) ・第72回全国レクリエーション大会(9/21) ・ふるさと祭り(11/2～4) ・四万十うまいもの商店街(11/11) ・枚方友好交流物産展(11/16～17) ・四万十市産業祭(11/18) ・西土佐の食材を活かす発酵食品とスパイス講座(11/19) ・旭川ぢばさんフェア(12/8～9) ・「RKCラジオキャラバン in よって西土佐」生放送 (12/14) ・高知大丸出張販売「冬の味覚祭」(12/15～16) ・クリスマスフェア(12/23～24) ○周辺施設・商店街等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛奥伊予肉街道への参加(4/21～11/30) ・四国まるごと美術館(11/3～12/16) ・婚活イベント(12/8) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗の売上げの拡大 ⇒運営会議の継続的な開催(情報共有・改善点等への対応協議) ⇒新たな商品、メニュー等の開発支援、設備導入への支援メニューの提案 ⇒集客アップのためのイベント等の開催 ⇒スタッフのスキルアップのため、商人塾・土佐MBAの研修参加への誘導 ⇒外商支援のため、「まるごと高知」の活用提案 ・周辺整備の計画づくり ⇒将来を見据えた整備計画の作成

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 25 四万十地域の素材を活かした新たな 外商戦略構築事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまんと百笑かんぱに(株) ・四万十市地域商品研究会 	<p>[目標]</p> <p>(しまんと百笑かんぱに(株))</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品売上高 <ul style="list-style-type: none"> H26実績: 30,000千円 →H29目標: 58,000千円(実績: 48,485千円) →H30目標: 70,060千円 →H31目標: 83,371千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品売上高(4~10月): 29,441千円(前年同期比 106.0%) ○自社商品の開発強化 <ul style="list-style-type: none"> ・だしのドリップパックの開発・販売開始(10月) (高知県食品産業総合支援事業を活用) ○生産体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・パート従業員を1名増員(7月) ○販売拠点整備と販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・商談会への参加 11回(12月末) ・HACCP研修への参加(8/22, 23) ・HACCP第3ステージ申請(12/27) ・台湾高知県フェア開催(10/1~14) ・通販サイト GRADD、トランクホテル、サンクゼール等との取引拡大 ○四万十市地域商品研究会 <ul style="list-style-type: none"> ・市との実施計画及び予算の協議(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会出店支援策の提案 ・新加工保管施設の安定稼働 ⇒HACCP第3ステージ認証取得に向けた支援 地域商品研究会の活動強化
<p>■No. 26 地元農産物等を活用したペット関連 商品の開発・販売拡大事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WAN LIFE 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品売上高(1~12月) <ul style="list-style-type: none"> H26実績: 2,088千円 →H29目標: 30,000千円(実績: 15,555千円) →H30目標: 30,000千円 →H31目標: 10,352千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品売上高(1~11月): 15,819千円(前年同期比 127.4%) ○商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・県内の事業者と連携した商品開発 四万十市: 原木しいたけ 土佐清水市: 宗田節 宿毛市: 鯛、きびなご、シイラ 黒潮町: 天日塩

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>その他県内：四万十鶏、はちきん地鶏、四万十ポーク、各種野菜</p> <p>○販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事販売への出店（計6回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上の増加 <ul style="list-style-type: none"> ⇒通販サイト及びふるさと納税のさらなる強化 ⇒主食商品の開発（商品ラインナップのさらなる充実） ⇒航空会社など企業向けの営業活動を強化 ・県産原材料の確保による新商品展開 <ul style="list-style-type: none"> ⇒原材料生産者の情報収集
<p>■No. 27 四万十の地域食材を中心とした商品開発・販売事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)LLP しまんと 	<p>[目標]</p> <p>○商品売上高（4～3月）</p> <p>H26実績：24,297千円</p> <p>→H29目標：27,000千円（実績：25,000千円）</p> <p>→H30目標：30,000千円 →H31目標：37,500千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高（4～11月）：19,191千円（前年同期比101.7%）</p> <p>○販路開拓及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事販売への出品（9回） ・新規取引を開始：4社（12月末） ・県外食品会社等による産地視察への対応：3件 <p>○組織強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パート従業員2名増員予定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員確保（高知求人ネットの活用） ・生産コストの縮減 <ul style="list-style-type: none"> ⇒生産の効率化に向けた設備導入の検討 ・売上の増加 <ul style="list-style-type: none"> ⇒PB・OEMの受注PRも含めた営業活動の展開
<p>■No. 28 素材の特性を活かした地域色豊かな冷凍加工食品の開発・製造・販売事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)和 	<p>[目標]</p> <p>○商品売上高（6～5月）</p> <p>H26実績：11,744千円</p> <p>→H29目標：17,800千円（実績：22,886千円）</p> <p>→H30目標：20,000千円 →H31目標：23,852千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○商品売上高（6～10月）：7,340千円（前年同期比83.6%）</p> <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の催事での実演販売の実施（55回） ・商談会への参加（6回）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携事業として高幡地域の事業者と連携して開発した商品の OEM 生産の継続及び PR ○商品開発及び改良 <ul style="list-style-type: none"> ・ケンボロー豚のパッケージやストーリーの検討 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・商人塾短期集中セミナーin 幡多受講 (6~10月) ・土佐 MBA 経営戦略概論を受講 (6/1) ・売れる商品開発・商品力アップ塾を受講 (8~10月) ・小規模事業者持続化補助金を利用したツガニスープ商品開発 (9月~) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売先の確保 ⇒商談会等への参加など継続的な外商活動の展開 ・生産拡大・効率化や衛生管理の徹底のための環境づくり ⇒県版 HACCP の取得に向けた取組の強化
<p>■No. 29 遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 ・四万十にぎわい商店(株) 	<p>[目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○推進組織体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・取締役会 (計7回) 取締役会での県支援制度の説明 (7/17) ○事業効果を高める仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・四国経済産業局、中小機構四国との国事業活用に関する協議 (4/23) ・商店街振興計画の策定の検討 (6/15~) ・中小機構サポート事業 (アドバイス事業) の実施 (4回) ・四万十市中心商店街活性化協議会の発足と開催 (3回) (産業振興アドバイザーを活用) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実効性の高い事業実施計画の策定 ⇒取締役会及び運営会の定例開催 ⇒拠点整備事業と整合性のある商店街振興計画の策定 ・人材確保及び育成 ⇒移住促進・人材確保センター、商人塾の活用提案 ・実施設計及び工事に係る財源の確実な確保 ・開業後の運営ノウハウの構築

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 30 大月町まるごと販売事業(拠点ビジネス)(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(一財)大月町ふるさと振興公社</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高 H26実績:1.86億円 →H29目標:2.07億円(実績:1.96億円) →H30目標:2.2億円 →H31目標:2.5億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(4~11月):132,779千円(前年同期比97.4%)</p> <p>○地場産品総合販売ビジネス(ファンづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおつきふれあいマーケットの実施(毎月第3日曜日) ・集客アップに向けた各種イベントの実施(5回) ・イベント等での出店(県内6回、県外1回) ・ギフトカタログ等での販売(夏:6~10月、冬:11月~) ・商人塾短期集中セミナーin幡多受講(若手職員1名) <p>○町内事業者と連携した特産品開発生産ビジネス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年用の通販ビジネスの強化 (産業振興アドバイザー制度活用(5回)) ・新商品の開発1品(販売開始10月)(晩柑ドリンク) ・県版HACCP研修受講(12月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる集客アップに向けた戦略づくり ⇒将来を見据えた道の駅新戦略づくり ⇒SNSを活用した更なる情報発信の強化 ・カタログ、ネット販売やふるさと納税関連の企画販売等の強化 ⇒カタログ、ネット販売の再構築及びふるさと納税を活用した販売促進への波及 ・既存施設の改修等の検討 ⇒町と連携し課題を整理し、改築も含めた検討の実施 ⇒売店の商品陳列リニューアル(幡多エリアの充実)
<p>■No. 31 三原村のどぶろくによる地域活性化事業(三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・土佐三原どぶろく合同会社</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高(6~5月) H27目標:8,630千円(実績:4,540千円) →H29目標:8,630千円(実績:14,989千円) →H30目標:8,630千円 →H31目標:8,630千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(6~8月):2,692千円(前年同期比142.6%)</p> <p>○販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会への参加 こうち発掘フェア(10/24)、アグリフードEXPO大阪(2/20,21)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの出展 ふれあい大マーケット (4/15)、天神橋おかみさんまつり (4/21)、宿毛市産業祭 (4/29)、三原村特産品フェア (7/14, 15)、じまんや感謝祭 (8/26)、土佐さがのもどりガツオ祭 (10/13)、豊かな海づくり大会 in ビオス (10/28)、豊かな海づくり大会 (10/28, 29)、三原村どぶろく農林文化祭 (11/3)、ふるさと祭り (11/2, 3, 4)、今ノ山ヒルクライム (11/11)、四万十市産業祭 (11/18) ○組織体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・県版 HACCP 研修受講 (8/22, 23) ・食品表示研修受講 (9/6) ・県版 HACCP 取得に向けたアドバイザーによる書類指導 (2回) ・伴走型小規模事業者支援事業 会計セミナー (2回)、Air レジセミナー (9/26) 経営分析セミナー (2回) ・産業振興アドバイザーの活用 (2回) 商品価格の見直し、販売戦略の構築 ○広報・PR <ul style="list-style-type: none"> ・イベント出展時にパンフレット等配布 ・情報誌「ミリカ」への掲載 (9/8) ・新酒祭りの開催 (9/15) 事前配布チケット約 170 枚+当日参加者 合計約 180 名 [課題と今後の対応] <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略の構築 ⇒情報発信力の強化、三原村へ来てどぶろくを飲んでもらえるような仕掛け、酒屋や料理店等との連携 ・新商品の開発・販売 ⇒季節限定商品や加工品等新たな商品の開発 ・販路の拡大 ⇒県外での PR 活動、商談会等への参加、集落活動センターとの連携 ・品質管理、衛生管理体制の強化 ⇒加工設備等の改修の検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 32 地域産トマトの加工・販売の推進事業 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)ベストグロウ</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高 (5~4月)</p> <p>H26 実績 : 32,850 千円</p> <p>→H29 目標 : 45,000 千円 (実績 : 84,408 千円)</p> <p>→H30 目標 : 60,000 千円 →H31 目標 : 65,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高 (5~9月) : 32,700 千円 (前年同期比 110.3%)</p> <p>○生産体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IoT 導入に関する検討 (4/11) ・県版 HACCP 研修受講 (8/22, 23) ・県版 HACCP 取得に係るアドバイザーの現地確認 (9/27) ・伴走型小規模事業者支援事業 Air レジセミナー (9/26)、経営分析セミナー (10/29) <p>○青果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町での生産、出荷 <p>○販売促進と商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与力水産を通じたシンガポール事業者へのトマトピューレ等の紹介 (5/23) ・高知県よろず支援拠点を通じた枡屋商事との個別商談 (9/13) ・商談会参加 県商談会 (5/29)、アグリフード EXPO 東京 (8/22, 23)、こうち発掘フェア (10/24)、日本政策金融公庫商談会 (10/3)、土佐の宴 in 名古屋 (10/31)、土佐の宴 in 大阪 (10/19)、アグリフード EXPO 大阪 (2/20, 21) ・講演依頼対応 産業振興計画シンポジウム (6/1) GPEC 施設園芸・植物工場展 (7/12)) ・イベントへの出展、出品 三原村特産品フェア (7/14, 15)、日曜日 (8/26)、豊かな海づくり大会サテライト会場 (10/28)、三原村どぶろく農林文化祭 (11/3)、ふるさと祭り (11/2, 3, 4)、四万十市産業祭 (11/18) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品の生産・販売体制の充実・強化 ⇒各種商談会への参加等による販路開拓 ⇒加工施設及び加工品保管施設の改修又は新設の検討 ・トマトピューレの販路拡大 ⇒トマトピューレの家庭用販売の検討 トマトピューレを活用した商品の開発検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・品質管理、衛生管理体制の強化 ⇒県版 HACCP 取得に向けた各種セミナー等への参加
<p>■No. 33 天日海塩を活用したビジネス推進事業（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(有)ソルティープ</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高（3～2月）</p> <p>H27 実績：12,000 千円</p> <p>→H29 目標：19,500 千円（実績：18,652 千円）</p> <p>→H30 目標：20,000 千円 →H31 目標：23,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高（3～10月）：15,204 千円（前年同期比 119.1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩づくり体験の受入 ⇒体験受入（4～10月）：321 人（前年同期比 113%） <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サントリー酒類（株）商談会（大阪）（5/8） ・関西居酒屋産業展（大阪）（5/15～17） ・高知県産品商談会（高知）（5/29） ・県外事業者（土佐里：東京都）産地視察対応（5/5） ・マルカイ個別商談（中村商工会議所）（7/5） ・居酒屋産業展（東京）（8/28～30） ・土佐の宴～高知県食材試食商談会～大阪（10/19） ・土佐の宴～高知県食材試食商談会～名古屋（10/31） ・幡多商談会（四万十市）（11/14） ・高知県産品展示会（高知市）（11/27） ・HACCP 研修受講（9/13～14） ・PRP 研修受講（10/11） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の知名度アップとさらなる販路の拡大 ⇒各種商談会への参加による販路開拓の促進 ・生産施設の拡充 ⇒結晶ハウスの増設及び関連施設の整備 （産振総合補助金活用検討） ・県内事業者等への天日塩の活用促進 ⇒県内事業者との連携強化による新たな商品の開発

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 34 佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)なぶら土佐佐賀 ・黒潮町 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 <ul style="list-style-type: none"> H26 実績：118,658 千円 →H29 目標：204,824 千円（実績：213,570 千円） →H30 目標：209,945 千円 →H31 目標：209,945 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高（4～11月）：155,799 千円（前年同期比 99%） <ul style="list-style-type: none"> ・4周年祭の実施（4/15） ・クロネコキャラバン参加（5/19） ・JAF イベント参加（6/10） ・和ソフト・文旦ソフト詰め合せ <ul style="list-style-type: none"> 明神水産お中元カタログ掲載（6月） ・和ソフト・文旦ソフトテイクアウトコーナー販売（7月） ・インテック大阪展示会視察（9月） ・ハラミ丼、刺身定食、ハンバーグカレー提供（10月） ・全国豊かな海づくり大会サテライト会場出店（10/28） ・片坂バイパス開通に伴うお土産セット販売（11/17～22、57セット完売） ・片坂バイパス開通記念つなぐシールラリー（11/17～H31.2/28） ・バンコクにて四国4県PR・商談（11/19～11/22） ○町内関連施設等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・「カツオと鯉のぼりの川渡しフェスティバル」との連携（道の駅での紙のこいのぼり販売、フェスティバル会場での道の駅割引券配布、5/3） ・道の駅ビオスおおがたとの情報交換会（2回）（開催予定・4回/年） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客促進のための魅力ある店舗づくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒幡多地域の観光情報等発信機能の強化 ⇒地元事業者や関係機関との連携強化 ⇒商品の品揃えの充実、商品アイテムや数量の増大、スペースの有効活用
<p>■No. 35 幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)土佐佐賀産直出荷組合 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高（3～2月） <ul style="list-style-type: none"> H26 実績：84,159 千円 →H29 目標：120,000 千円（実績：80,567 千円） →H30 目標：125,000 千円 →H31 目標：130,310 千円

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高(3～10月): 57,031千円(前年同期比99.6%) <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク、高知求人ネットへの求人掲載 ・外国人研修生(ベトナム)2名受入(9月) ・集落活動センター北郷よりバジルの購入始める(7月) ・冷凍施設完成(12月)、稼働(H31.1月) ○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等出展(4月～11月:26回) ○衛生管理の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・一般的衛生管理プログラム研修(5/9) ・県版HACCP勉強会(5/10・11) ・HACCP研修(9/13～14) ・「組織のコミュニケーション力の強化」研修(12/4) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存取引先との取引強化及び新規取引先の開拓 ⇒主要取引先との連携強化による取引量の増大 ⇒各種商談会への参加による販路開拓の促進 ・従業員教育の強化 ⇒県版HACCP第3ステージに基づく衛生管理手順の遵守及び社員教育の継続的な実施
<p>■No. 36 地域資源を活かした防災関連商品推進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町 ・(株)黒潮町缶詰製作所 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 <ul style="list-style-type: none"> H26実績:0.13億円 →H29目標:97,632千円(実績:68,514千円) →H30目標:90,000千円 →H31目標:1億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高(4～10月):54,134千円(前年同期比165%) <ul style="list-style-type: none"> ・Tシャツアート展出店(5/3～6) ・はだしマラソン出店(5/3) ・四万十うなぎひつまぶし1万2千缶納品(5月) ・「高知家のうまいもの大賞2019」で審査員特別賞受賞(四万十うなぎ蒲焼き) ○商品開発等 <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛産イワシを活用した商品(自社) ・岡山産カキを活用した商品(OEM) ・四万十ポーク・四万十鮎を活用した商品(自社) ○県内外でのPR販売・営業活動 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯防災総合展出店(大阪)(6/7～8) ・高知県食品表示研修会(高知)(6/13) ・FOMAセミナー参加(東京)(6/14)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ローリングストック神戸(8/4～5) ・NAGOYA フードビジネスショー(9/19～20) ・アレルギーEXP02018 東京(10/14～17) ・土佐さがのもどりガツオ祭(黒潮町)(10/20) ・全国豊かな海づくり大会(黒潮町)(10/28) ・FOODSTYLE 2018 in Fukuoka(11/6～9) ・黒潮町まるごと産業祭(黒潮町)(11/10) ・ものづくり総合技術展(高知)(11/15～17) ・防災イベント(奈良県)(11/30) <p>○防災食品普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県栄養士ネットワーク参加(四万十市)(6/24) ・幡多地区栄養士会ネットワーク参加(8/3) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理、衛生管理体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県版 HACCP の取得に向けた取組の強化(他商品) ⇒継続的な社員教育の実施 ・県内外への販売促進強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒備蓄用、グルメごとにターゲットを絞った販路開拓 ・地域資源を活用した商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ⇒地域内の事業者との連携強化
<p>■No. 37 幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 幡多広域観光協議会 <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト、土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入込客数(1～12月) <ul style="list-style-type: none"> H26 実績: 1,274,622人 →H29 目標: 1,296,000人(実績: 1,193,000人) →H30 目標: 1,296,000人 →H31 目標: 1,296,000人 <p>[取組状況]</p> <p>教育旅行受入(4～11月): 13校、919人</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品造成・販売 <ul style="list-style-type: none"> ・「土佐の観光創生塾」への参加 ○誘客促進の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・一般旅行: 高知県観光説明会(5/17福岡、5/29名古屋、6/27広島、6/28岡山) 維新博商談会(高知・4/18) 〃 モニターツアー(4/19～20) 旅行会社視察受入(5/22～23) 四国観光商談会(9/27東京、10/10大阪、10/24名古屋) シンガポールメディア対応(7/24～25) 四ツ創視察対応(8/6～8) HIS 視察対応(10/18)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>ツーリズム EXPO (9/20～23)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行：教育旅行セールス (6/18～19) <ul style="list-style-type: none"> 訪日教育旅行現地説明会 (台湾・6/20～22) 高知県教育旅行説明会 (7/26 大阪) 関西セールス (11/15～16) 関東セールス (12/17～19) 高知県教育旅行モニターツアー (12/5～7) ・国際旅行：香港セールス (高知県・香川県合同商談会) (9/5～9) <ul style="list-style-type: none"> 四国インバウンド商談会 in 松山 (10/16) 四国インバウンド商談会 in バンコク (11/20) JTB ファムトリップ (9/7～8) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊観光につなげる旅行商品づくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒「土佐の観光創生塾」の参加関係団体等と連携した周遊観光商品づくり ・誘致促進に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ⇒高知県、高知県観光コンベンション協会や市町村等と連携した誘致活動の継続 ⇒愛媛県南予地域と連携した PR 活動の展開やインターネット広告等を活用した誘客促進 PR の展開 ・関係団体と連携した組織強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒多様な関係者と連携し、日本版 DMO 候補法人登録を活かした観光地づくり
<p>■No. 38 幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト (幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 幡多広域観光協議会 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入込客数 <ul style="list-style-type: none"> H26 実績：4,600 人 →H29 目標：11,000 人 (実績：11,821 人) →H30 目標：12,800 人 →H31 目標：8,470 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入込客数 (4～11 月)：5,200 人 (前年同期比 99.6%) ○地域の受入体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・受入関係者勉強会 (弁当関係 5/30、宿泊関係 6/28) ・誘致活動：高知市 (4 回) <ul style="list-style-type: none"> 中国地方 (2 回) 九州地方 (2 回) 関西、東京、東海、九州地方 (6/18～25) 関西、東海地方 (10/24～30) 香川県 (2 回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○広域連携による取組の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町スポーツツーリズム推進会議(3回) ・スポーツツーリズム推進会議(県内関係者)(2回) ・幡多広域スポーツ部会(11/9) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工芝も含めた施設等のPR促進 ⇒継続的なプロモーション活動の促進 ・スポーツツーリズムに係る広域観光協議会及び各市町村の体制の充実 ⇒受入体制充実に向けた各市町村との連携強化 ・観光コンベンションや各種競技団体など関係機関との連携強化 ⇒スポーツツーリズムに係る関係機関との協議の継続 ・地域の受入体制づくり ⇒新たな集落活動センターとの連携
<p>■No. 40 竜串地域観光再生プロジェクト (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・(一社)土佐清水市観光協会 ・NPO 竜串観光振興会 ・竜串自然再生協議会 	<p>[目標]</p> <p>○入込客数(1~12月) H26実績:9.5万人 →H29目標:106,250人(実績:94,539人) →H30目標:11万人 →H31目標:12.5万人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○竜串地域の観光クラスター形成に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竜串海洋観光クラスター協議会 (協議会:5回、ワークショップ:3回) <p>○竜串地域との連携体制づくり(協議会等で協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社用竜串観光案内パンプレットの作成 ・体験型観光プログラムづくり ・各種ツアー、イベントの受入 ・竜串再開発に関する行政連絡会(2回) ・土佐の観光創生塾の受講(地元4事業者) <p>○スノーピークを核としたアウトドア施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・爪白キャンプ場整備(建築工事)工事(7月~) ・県観光拠点等整備事業費補助金を活用した県内外キャンプ場でのPR 3カ所(大坂、大分、越知町)で実施(9~10月) ・モニターツアー及びジオガイド養成 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元を巻き込んだキャンプ場運営に向けた推進体制構築 ⇒竜串海洋観光クラスター協議会において、キャンプ場を活用した誘客の仕組みの検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒イベント開催等による地元住民との協働の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型プログラムづくりに向けた体験メニューのブラッシュアップ、人材育成(土佐の観光創生塾の活用等) <p>⇒地域住民を巻き込んだ体験型プログラムの造成</p> <p>⇒地域住民を主体としたインストラクターの育成</p>
<p>■No. 42 土佐清水ジオパーク推進事業 (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・土佐清水ジオパーク推進協議会 	<p>[目標]</p> <p>(土佐清水市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ジオパークガイド登録者数(3月末時点) H26実績:0人 →H29目標:20人(実績:21人) →H30目標:25人 →H31目標:30人 ○ジオツアー年間参加者数 H26実績:0人 →H29目標:360人(実績:134人) →H30目標:500人 →H31目標:1,000人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ジオパークガイド登録者数(12月末):21人 (前年同期比131.3%) ○ジオツアー年間参加者数(4~12月):58人 (前年同期比414.3%) ・推進協議会総会(4/6)の開催 ・日本ジオパーク新規加盟申請プレゼンテーション(5/19) →1次審査通過→現地調査(7/11~13) ・関係機関打ち合わせ(5/24) ・協議会役員会(5/31) ・協議会臨時総会(6/8) ・総力戦会議(4回) ・模擬現地審査(7/5) ・県観光拠点等整備事業費補助金申請(8月) モニターツアー及びジオガイド養成 ・日本ジオパークネットワーク委員会で認定見送決定 (9/20) ・推進協議会臨時総会開催(10/1) ・審査結果報告会開催(11/10) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定に向けた取組 ⇒審査結果報告書を参考に今後の方針の策定 ・推進体制の強化 ⇒継続した取組ができる体制の確立

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 47 集落活動センターによる地域の産業振興 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 三原村集落活動センターやまびこ ・農事組合法人三原やまびこ 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高(4~3月) <ul style="list-style-type: none"> H28実績: 6,350千円 →H29目標: - (実績: 20,775千円) →H30目標: 20,000千円 →H31目標: 21,000千円 ○体験プログラム利用者数(4~3月) <ul style="list-style-type: none"> H28実績: 0人 →H29目標: - →H30目標: 0人→H31目標: 50人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高(4~10月): 15,751千円(前年同期比124.1%) ○販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ・商人塾短期集中セミナーin幡多の受講(若手職員1名) ・特産品販売促進部会による蒟蒻芋の収穫(10月~) ・酒類販売免許申請準備 ・イベントへの出展・参加 <ul style="list-style-type: none"> 三原村特産品フェアの開催(7/14,15)、 日曜日市(8/26,12/2)、土佐の日(10/3)、 豊かな海づくり大会(10/27,28)、総社祭(11/11)、 南国土佐観光びらき(2/1) ○交流人口の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・観光部会立ち上げ(4/1) ・土佐の観光創生塾(基礎編)の受講(若手職員1名) ・村内土佐の観光創生塾(応用編)受講者支援 ・農泊作業部会及び農泊推進協議会への参加 ・先進地、事例視察 <ul style="list-style-type: none"> 越知町&佐川町(6/20)、北川村&馬路村(10/4,5) ・移住者交流会の開催(6/24) ・村内イベントの開催、支援 <ul style="list-style-type: none"> 蛍コン&蛍祭り(6/2)、あじさい祭り(6/17)、 ビアホール(7/21)、三原村どぶろく農林文化祭(10/3) 総社祭(11/11)、フォトコンテスト(1/10) ・農泊推進事業観光アドバイザーの活用(全7回予定) ・セミナーへの参加参加 <ul style="list-style-type: none"> アートマネジメント講座(9/9) 体験型教育旅行セミナー(11/14) ○1次産業の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・地元高齢者によるシシトウハウスの収穫開始(5月~) ・食味計導入(8/30) ・おいしい米づくりの試験栽培の開始(4月~)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・米づくり先進地視察(島根県(9/13, 14)) ・お米番付コンテストへの参加 ・米のブランド化に関する協議(10/19) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略の構築 ⇒土佐商人塾への参加、村内各事業者との連携、カフェの継続的な運営体制づくり ・新商品の開発・販売 ⇒新たな村の特産品となり得る商品の開発・磨き上げ ・体験プログラム利用者確保に向けた体験メニューの掘り起こし、人材(ガイド等)の育成 ⇒土佐の観光創生塾への参加、観光部会での協議

2 平成30年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)
該当なし

3 県民参画に向けた取組

- ・幡多信用金庫との包括協定協議会で第3期計画 ver. 3の説明(6/7)
- ・幡多信用金庫との情報共有会議(8/24)

4 相談案件: 4件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/20	農業分野	米卸販売事業者から、地域アクションプラン加入に関する相談
2	5/28	農業分野	ファインバブルを活用した柑橘類の栽培について
3	6/7	水産加工	新たな魚種の加工品作りについての相談
4	9/1	商業分野	拠点となる施設を活用した商店街の賑わい作りについて